



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「聖地旅行」その⑨

受洗者の一人がワシントン州スポケンに住む僕の姉であり、もう一人が再献身を誓うN姉である。L姉も洗礼を希望して準備に入っていたのだが、前日から風邪をこじらせてしまい、惜しくも洗礼を受けずじまいであった。ヨルダン川は僕の腰の深さ辺りまであり、主に灌漑用に使われているためか、泥流のように茶色く濁っていて、川幅も五、六メートルあるかどうかだ。だからアラブ人のドライバーも水のきれいなガリラヤ湖での洗礼を勧めたのだった。しかし、たとえそこがどんな状態でも、主イエス様がバプテスマのヨハネから洗礼を受けられたという意義の方が大きいのであって、そこでの洗礼に誰も異論はなかった。姉に洗礼を授ける段になって、僕自身、家族では初めての洗礼者ということに心に迫るものがあり、祈りの言葉に詰まってしまった。いつも一人の人間が罪ゆるされ、救われるというのは大きな感動である。もう一人のN姉妹は多くの心の苦難を乗り越えて来られたこともあり、心気一転、主にお仕えする思いで洗礼を受けたのだった。二人の洗礼後、僕もまた再献身の思いで一人自ら全身をヨルダン川に浸していた。そこに居た全員も同じ思いであつたらう。

その夕方、いよいよ待望のエルサレムに入る。「黄金のエルサレム」という歌が思わず口から出てくる。ガイドさんが、「さあ、バスの左側を見て下さい。ここが憧れのエルサレムです」と叫ぶ。何度も案内書やテレビやインターネットで見たきた場面である。詩篇百二十一節に「わたしは山にむかって目をあげる。わが助けは、どこから来るのであるうか。わが助けは、天と地とを造られた主から来る」とある。これは「都もうでの歌」といわれるもので、人々は年三度の祭りの度ごとに神殿を目指して歩いてゆく。そこは東西南北どちらから来ても上り坂となっていて、歩きながらこのような詩篇を朗誦したのだった。

そこは主が三十数年の間、詣でた所であり、父なる神の愛を語り、十字架につき、そして復活された地である。その聖なる山について来たのかと思つた瞬間、主にお会いできたようで、それだけで感動であつた。一方、その時代に、もし僕が生きていたとすれば、主が裁かれる時、それまでのご恩も忘れて、他者と同じように主を否み、主を裁き、「主を十字架につけよ」と叫んでいたのであらうかと思つと、心に痛みを覚えるのだった。でも、主は十字架上で、殺す者をも赦せと叫んだように、この僕をも赦して下さつたのだと思うと、そこはまた感謝の尽きない地でもあつた。ここはまさに僕の巡礼地であつた(続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

